

事例発表④インターンシップの質の向上セッション

「テーマB 連携7大学で 中小企業短期インターンシップの ノウハウ共有」

日時：9月9日（火）14：30～15：00

会場：一橋講堂

関東山梨地域大学グループ

発表者：電気通信大学 共通教育部キャリア教育部会
特任教授 竹内利明

- 1.産業界のニーズに対応した教育改善・充実
体制整備事業 関東山梨地域大学グループ
14大学の信頼関係構築**
- 2.電気通信大学 事業所見学（大企業中心）
共有するノウハウ**
- 3.テーマB参加7大学がノウハウを共有
中小企業のインターンシップで新たなノウ
ハウの獲得を目指す**

- 1) 就業力GP → 産業界ニーズ（不採択）
→ 二次募集再挑戦 = 採択
14大学の**結束力**が高まった。
- 2) 追加事業として**合同FD**を企画・実行した。
各大学のノウハウを共有する機会となった。
はじめて**大学グループ**を結成する意義を理解
- 3) テーマB公募
14大学が公平に参加を検討できる企画を検討

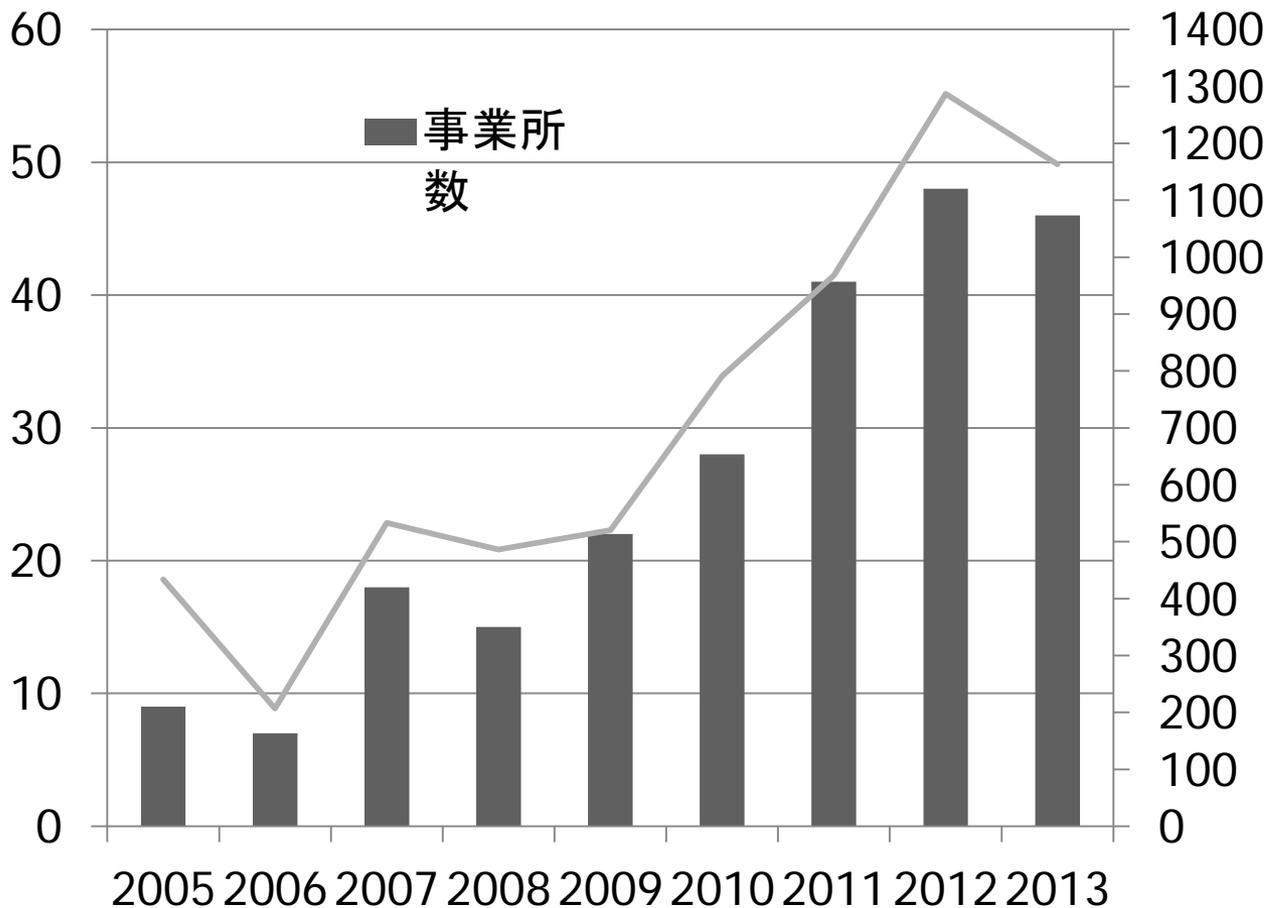
1) 共有するノウハウ

電気通信大学事業所見学（大企業中心）

電気通信大学事業所見学実績の推移

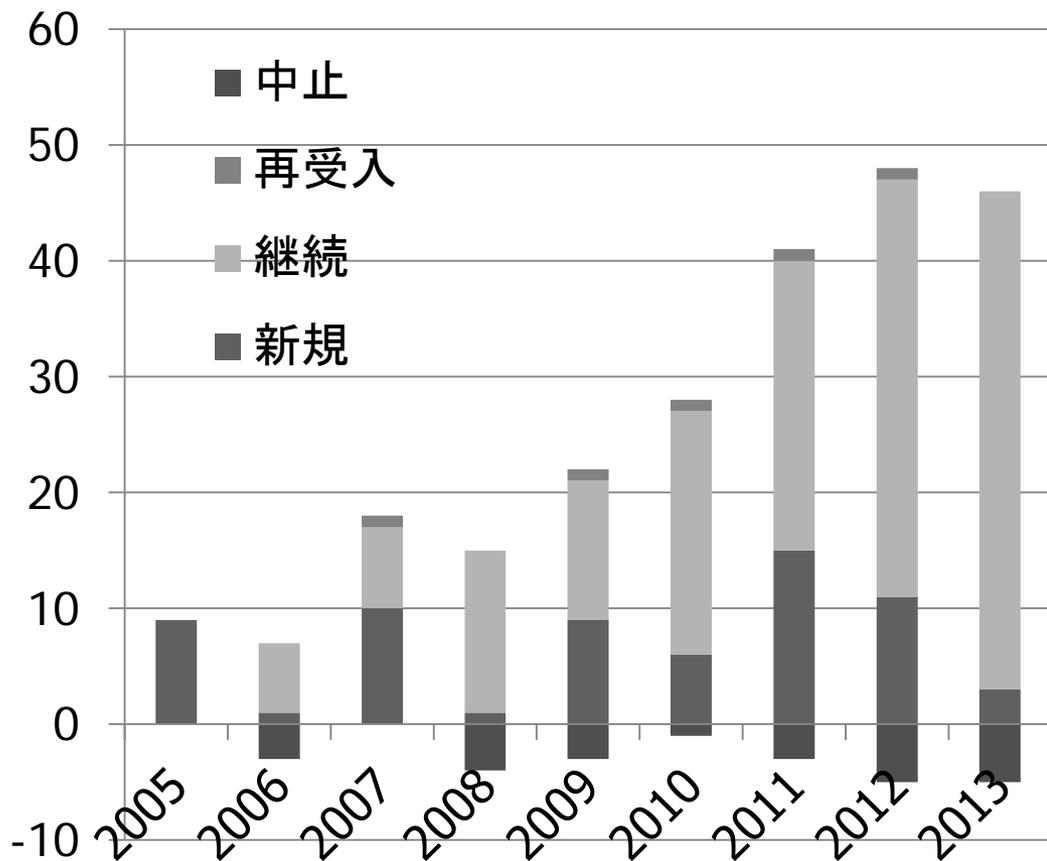
年度	事業所					参加人数
	実施	新規	継続	再受	中止	
2005	9	9	-	-	-	434
2006	7	1	6	-	3	207
2007	18	10	7	1	0	533
2008	15	1	14	0	4	486
2009	22	9	12	1	3	520
2010	28	6	21	1	1	791
2011	41	15	25	1	3	968
2012	48	11	36	1	5	1,287
2013	46	3	43	0	5	1,163
合計	234				24	6,389

電気通信大学 事業所見学実績 (2005-2013)



	事業所数	参加学生数
2005	9	434
2006	7	207
2007	18	533
2008	15	486
2009	22	520
2010	28	791
2011	41	968
2012	48	1,287
2013	46	1,163
合計	234	6,389

電気通信大学 事業所見学先増減 (2005-2013)



事業所数	新規	継続	再受入	中止
9	9	0	0	0
7	1	6	0	-3
18	10	7	1	0
15	1	14	0	-4
22	9	12	1	-3
28	6	21	1	-1
41	15	25	1	-3
48	11	36	1	-5
46	3	43	0	-5
234	65	164	5	-24

2.電気通信大学 事業所見学（プログラム）



1	ガイダンス 7月下旬	1年生は始めてなので90分、2年生は1年次に体験しているのので30分のガイダンスを実施している。
2	希望調査と見学先決定 8月中旬	ガイダンスで配布する開催日別事業所見学一覧を参考にウェブで学生が希望する見学先（第1～9希望）を登録する。学生の希望は、有名企業や研究機関に集中する。そこで、授業の出席率、レポート提出期限遵守率、レポート評価で決める。なお、これは4月に授業ガイダンスで説明していて、出席率向上効果を期待している。2014年度1年生の授業では、約3割の学生が15回の授業を遅刻・早退・欠席なく出席して、レポートの提出期限を守った。
3	eラーニング 8月から9月	事業所見学1週間前までに、参加の心構え、服装、企業研究等の準備に関する講義（18分）をeラーニングで聴講・レポートを提出する。原則レポート未提出での参加を認めない。
4	事業所研究（宿題）	宿題として訪問先の事業所を研究することを課している。大学図書館、公共図書館、ウェブサイトの活用を指導する。
5	事業所研究 当日午前中 60～90分	見学当日の午前中に大学で研究成果を話し合い、共有して、質問を考えるグループワークを行う。 保険加入の確認。秘密保持契約を必要とする企業の書類確認などを行う。
6	事業所見学 当日午後 180分	見学先には、以下のプログラムをお願いしている。 1）事業所概要の説明（30～60分） 2）事業所見学と質疑応答（60分から90分） 3）若手社員との懇談、質疑応答（60～90分：可能なら本学卒業生） 4）帰宅後レポート提出 学生は若手社員との懇談で、大きな刺激を受ける。その内容は、キャリア教育の授業レポートの中でも特筆する内容で、毎年レポートを読むのを楽しみにしている。近年、学生の文章力の低下が話題になることが多いが、学生は心に響く感動や気づきがあるとよい文章を書く
7	振り返り学習 9月下旬 90分	事業所見学の全日程終了後、夏休みの最終日近辺で実施する。キャリア教育の授業クラス別に集まる。学生はそれぞれ見学先が異なるので、小グループに分かれて、見学概要とそこで学んだことを発表して共有する。学生は関心があるものの参加できなかった事業所について参加学生の発表を聞いて、多様な事業所の実態、共通点、相違点などを学ぶ。また、夏休みから後学期に向かう学生の生活習慣を正し、勉学意欲を喚起する効果も期待している。

事業所見学

外資系企業で先輩を囲み話を聞く



グループワーク(固定教室)



グループワーク(可動教室)



1) 事業内容（3本の柱）

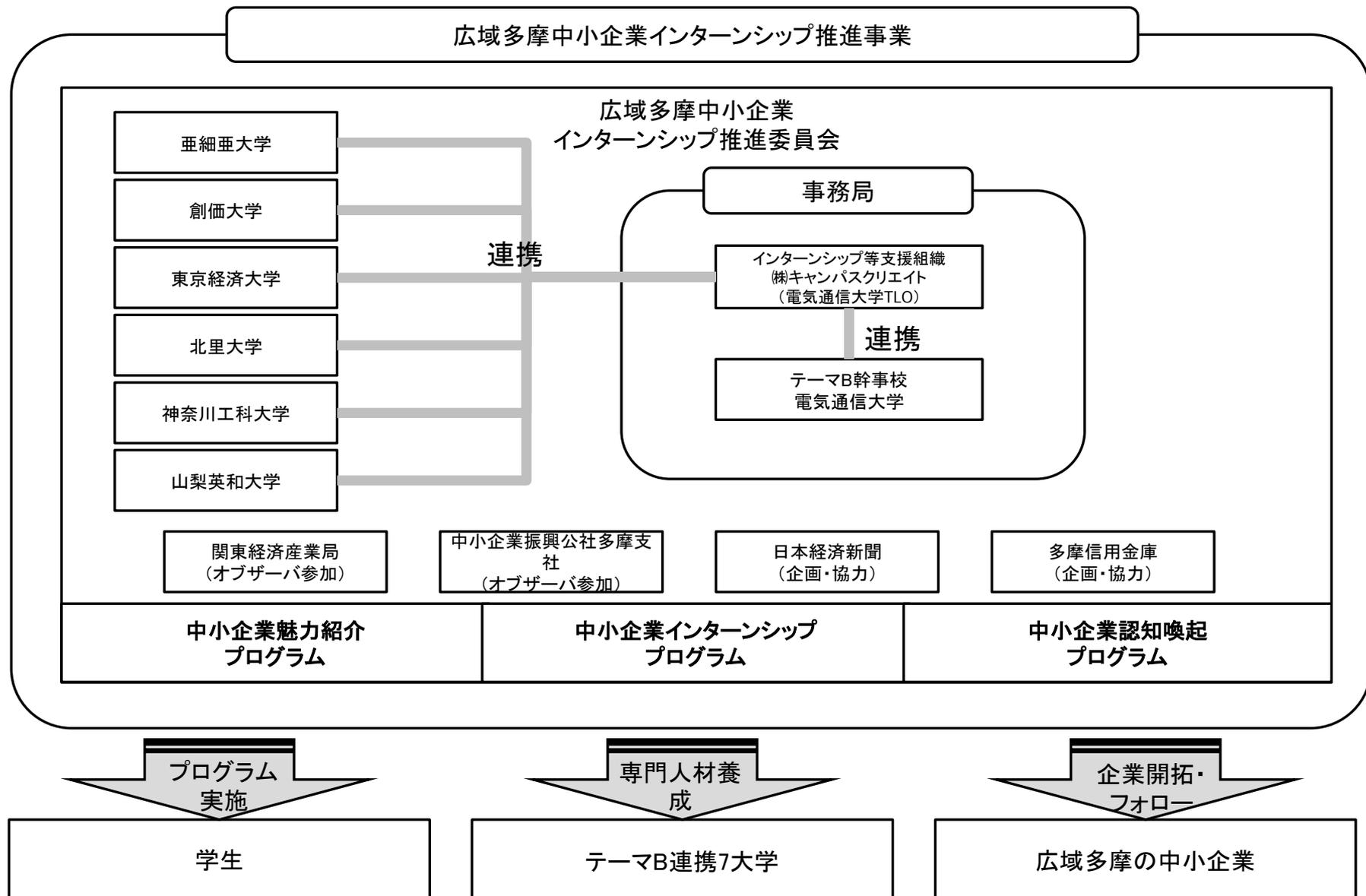
① 中小企業魅力紹介プログラム

② 中小企業インターンシッププログラム

- ・ 低学年次短期中小企業研究インターンシッププログラム
- ・ 中長期インターンシッププログラム

③ 中小企業魅力喚起プログラム

広域多摩中小企業インターンシップ推進事業



2) 中小企業インターンシッププログラム

① 低学年次短期中小企業研究インターンシッププログラム

目標100名に対して187名学生の申し込みがあった。しかし、本事業を協働で取り組む中小企業の開拓では、今回8社の協力を得たが、企業により協力体制には差があり、全面的に協力が得られるように、今後努力を継続していく。

3. テーマB 参加7大学がノウハウを共有



2) 中小企業インターンシッププログラム

① 低学年次短期中小企業研究インターンシッププログラム

大学名	8/28(木)			8/29(金)			9/2(火)			9/5(金)			9/8(月)			9/8(月)			9/11(木)			9/11(木)			大学計	男	女
	卸業 A社			IT業 B社			製造業 C社			サービス業 D社			サービス業 E社			製造業 F社			運輸業 G社			土木業 H社					
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	
亜細亜大学	4		4							4		4	3	1	4									12	11	1	
創価大学	1		1	1	2	3	1	1	2		1	1		2	2		2	2	2	5	7		2	2	20	5	15
東京経済大学	6	4	10	2	6	8	1	2	3		4	4	1	4	5									30	10	20	
北里大学	1	1	2							1		1												3	2	1	
山梨英和大学					4	4					2	2												6	0	6	
神奈川工科大学	3	6	9	4	4	8	8	6	14				2	2	4	5	1	6	8	4	12	2	3	5	58	32	26
電気通信大学	2	2	4	10	1	11	3	2	5	3	1	4	10	2	12	11	1	12	2		2	6		6	56	47	9
合計	17	13	30	17	17	34	13	11	24	8	8	16	16	11	27	16	4	20	12	9	21	8	5	13	185	107	78

2) 中小企業インターンシッププログラム

② 中長期インターンシッププログラム

平成26年度夏休みの実施は、時間的制約で、ほとんど実行できなかった。冬休みないし春休みの実施を検討する。

3) 本事業で獲得・共有するノウハウ

本事業を通じ**中小企業**と大学双方にメリットあるインターンシップを推進するノウハウを獲得して共有することを目指す。

4) 専門人材の育成

産業界経験があり、更に大学でキャリア教育を担当できる人材がインターンシップを担うべき時期を迎えたと考える。これまでは、産業界出身で、企業とのネットワークを有する人材が大学のインターンシップ事業を担い、体制を構築してきた。企業とよい関係が構築できたことに感謝している。しかし、今後大学は、この関係を維持・発展させながらキャリア教育も担える教員を養成する必要がある。

参考資料

電気通信大学のキャリア教育

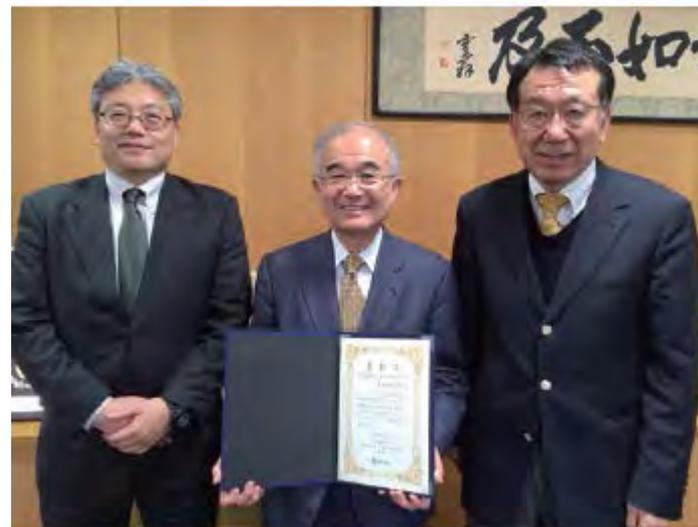
経済産業省

「社会人基礎力を育成する授業30選」

2014年3月9日(日)表彰式



賞状



実践教育科目(昼間コース) **太字が担当している科目**

区 分	授業科目	単 位 数	必 修 選	毎週授業時間数								備 考	
				一年次		二年次		三年次		四年次			
				1	2	3	4	5	6	7	8		
実践教育科目 倫理キャリア教育科目	キャリア教育演習	1	◎	2	2								キャリア教育演習及びキャリア教育演習リーダーは通年隔週開講 倫理・キャリア教育科目は、必修のキャリア教育演習及びキャリア教育演習リーダーを含め、10単位を修得すること。 インターンシップの取扱いについては、別に定める。
	キャリア教育演習リーダー	1	◎					2	2				
	電気通信大学概論	2	○	2									
	総合コミュニケーション科学	2	○				2						
	キャリアデザイン1	2	○			2		#					
	キャリアデザイン2	2	○				2		#				
	エンジニアリングデザイン	3	○					2	2				
	インターンシップ	2	○					2					
	インターンシップ(海外)	2	○					2					
	ベンチャービジネス概論	2	○					2		#			
	知的財産権	2	○						2		#		
	技術者倫理	2	○						2		#		

注1. 必修・選択の別欄の◎印は必修、○印は選択科目を示す。

注2. 毎週授業時間数欄に#がある科目は複数の学期で同時に開講していることを示す。

シラバス参照 <http://www.uec.ac.jp/campus/academic/syllabus.html>

■企業現場を見学して若手技術者と交流する事業所見学を行い、仕事（職業）と企業の実態を理解する。

平成 25 年度事業所（企業等）

見学（夏休み）

- 日立製作所
 - ソニー
 - NTTドコモ
 - NHK
 - Google
 - 富士通
 - 日本マイクロソフト
 - 野村総合研究所
 - 鉄道総合研究所
- など 46 か所

■自己理解のために職業適性や性格テストなどを行い、自己の個性（長所・短所）、強み、才能、価値観の理解に努める。

○職務適性テスト

○国際規定に基づく性格検査 MBTI

■産業界で活躍する社会人講師の講義から産業界から求められる人材像を学び理解する。

平成 25 年度社会人講師の講義実績

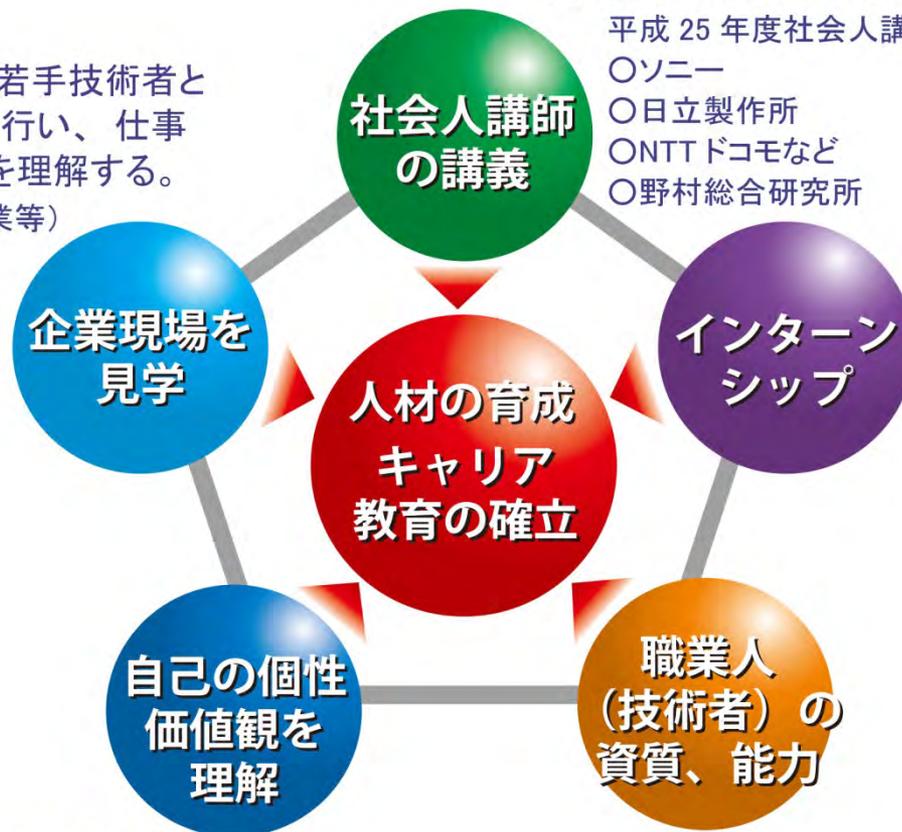
- ソニー
- 日立製作所
- NTTドコモなど
- 野村総合研究所

■実体験により勤労観、職業観を養うために、自発的にインターンシップに参加する学生が増えることを目指す。

平成 25 年度インターンシップ実績

- 日本電気
- 日本発条
- 横河電機
- アンリツ など

■1年生と3年生の学年横断演習や2年生が少数グループディスカッションを繰り返し行う。自ら課題を提起し、その解決に取り組み、結果を発表することで、課題発見力、リーダーシップ、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等を高める。



キャリア教育の目的

将来の職業について考え、目標を具体化する努力の必要性に気づかせ、社会に広く目を向けさせる。結果、大学教育の意義を再認識させ、
勉学意欲を増進し教育効果を高める。

キャリア教育の概要

理工系国立大学の先陣を切り平成17年度にスタートして、今年で10年目を迎えた。その間、文部科学省特別教育研究経費、就業力GP、産業界のニーズGPに連続採択という高い評価を受けて発展してきた。

学生は人生において初めて真剣にキャリアデザインを考える機会となる。そこで、産業界OBを特任講師として採用して、きめ細かく支援する体制を構築している。

平成25年度から1年生と3年生が同じ教室で学び、チームを組み相互に啓発しながらプロジェクト活動に取り組む「キャリア教育演習及びリーダー」を必修科目として開講した。

「電気通信大学キャリア教育」検索 click

<http://www.sangaku.uec.ac.jp/link/career.html>

「工学研究」事例報告、ベネッセVIEW21などの記事を読むことができる。

必修のキャリア教育科目

キャリア教育演習 1年生 (1～2学期)	1年生とキャリア教育演習リーダーとして履修する3年生が協力して行う学年横断型のPBL型演習。自らテーマや課題を設定すること、そしてその達成を目指したチーム活動を通じて、コミュニケーション力と問題解決力、自己管理能力、チームワーク等を体験的に学ぶ。
キャリア教育演習 リーダー 3年生(1～2学期)	3年生は、リーダーシップの基礎を学び、1年生への助言等を通じて報告・連絡・相談の重要性と支援方法を学び、活動成果の発表や報告書のとりまとめなど、コミュニケーションについて総合的に学ぶ。

主な選択必修のキャリア教育科目(1, 2年次)

電気通信大学概論 1年生(1学期)	母校について学び、理解し、大学で何を学ぶのか考える。社会で活躍する先輩の講義、社会の仕組み等を学び、企業を見学して若い先輩社員と交流して、将来の職業を含む人生のビジョンを考える。
キャリアデザインⅠ 2年生(3学期)	自己理解を深め、大学で獲得する専門性について考え、将来の職業を含む人生のビジョン(なりたい姿)を考える。その結果をキャリアデザインマップで見える化(可視化)する。
キャリアデザインⅡ 2年生(4学期)	国際規定に基づく性格検査MBTIを用いて自己理解を深め、発想能力の開発に継続的に取り組み、ディベート実践を通じてコミュニケーション力とともに、考える力、チームワーク等を含む「社会人基礎力」の総合的な向上を目指す。

平成16年度 (2004) 教育担当副学長のもとで、産学官連携部門が中心になりキャリア教育を企画して、学部教育委員会の承認を得て、翌年度から全学対象に卒業要件単位外の自由科目として導入することを決めた。

平成17年度 (2005) キャリアデザインA(1年生)授業開始
企業派遣講師によるオムニバス方式(前期は幹部、後期は若手技術者)の講義と夏休みの事業所見学

平成18年度 (2006) 文部科学省特別教育研究経費(教育改革)の支援事業
「理工系専門大学における1年生から始める産学官連携によるキャリア教育」

キャリア教育ボランティア(TTA:特任講師)制度導入
キャリアデザインB(2年生)授業開始
キャリアデザインC(3年生)授業開始

平成19年度 (2007)
平成20年度 (2008) ベンチャービジネス概論(3年生)の内容を変更し、キャリア教育(経営:事業計画)科目に位置づけた。

- 平成21年度 (2009) **キャリアデザインを共通教育科目の選択科目として卒業要件単位に認定**
- 平成22年度 (2010) **学部改組でキャリア教育科目を8単位選択必修とした。**
1年次電気通信大学概論を開講
夜間主必修アカデミックリテラシー(キャリア教育)を開講
文部科学省大学生の就業力育成支援事業に「就職率、4年卒業率向上のための学年横断教育」が採択された。
- 平成23年度 (2011) **キャリア教育体系の再編**
1年次必修「キャリア教育演習」開講
担任教員制度導入
夜間主2年次必修として「インターンシップ1」を開講
- 平成24年度 (2012) **キャリアデザインA→1,キャリアデザインB→2開講学期変更**
キャリアデザインC→エンジニアリングデザインに変更
電気通信大学概論に大学院生TAを導入
文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」が**事業仕分けで年度末で廃止**になる。

平成24年度 **文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」**に本学が関東山梨地域大学グループ(14校参加)の幹事校として「関東山梨地域大学連携による産業界等のニーズに対応した教育改善」応募して採択。

平成25年度 **学年横断教育開始**

(2013) 3年次必修科目として「キャリアデザイン演習リーダ」開講産業界ニーズGPにおいて14校が相互にキャリア教育の授業を参加大学各校の教員に公開して各校のキャリア教育の授業改善を行う取り組みが始まる。

大学院オープンラボ

学部授業を全学休学にして1, 2, 3年生が研究室を見学して大学で身に着ける専門性を考える機会とした。

オープンキャンパス(7/14)で保護者向け説明会開催

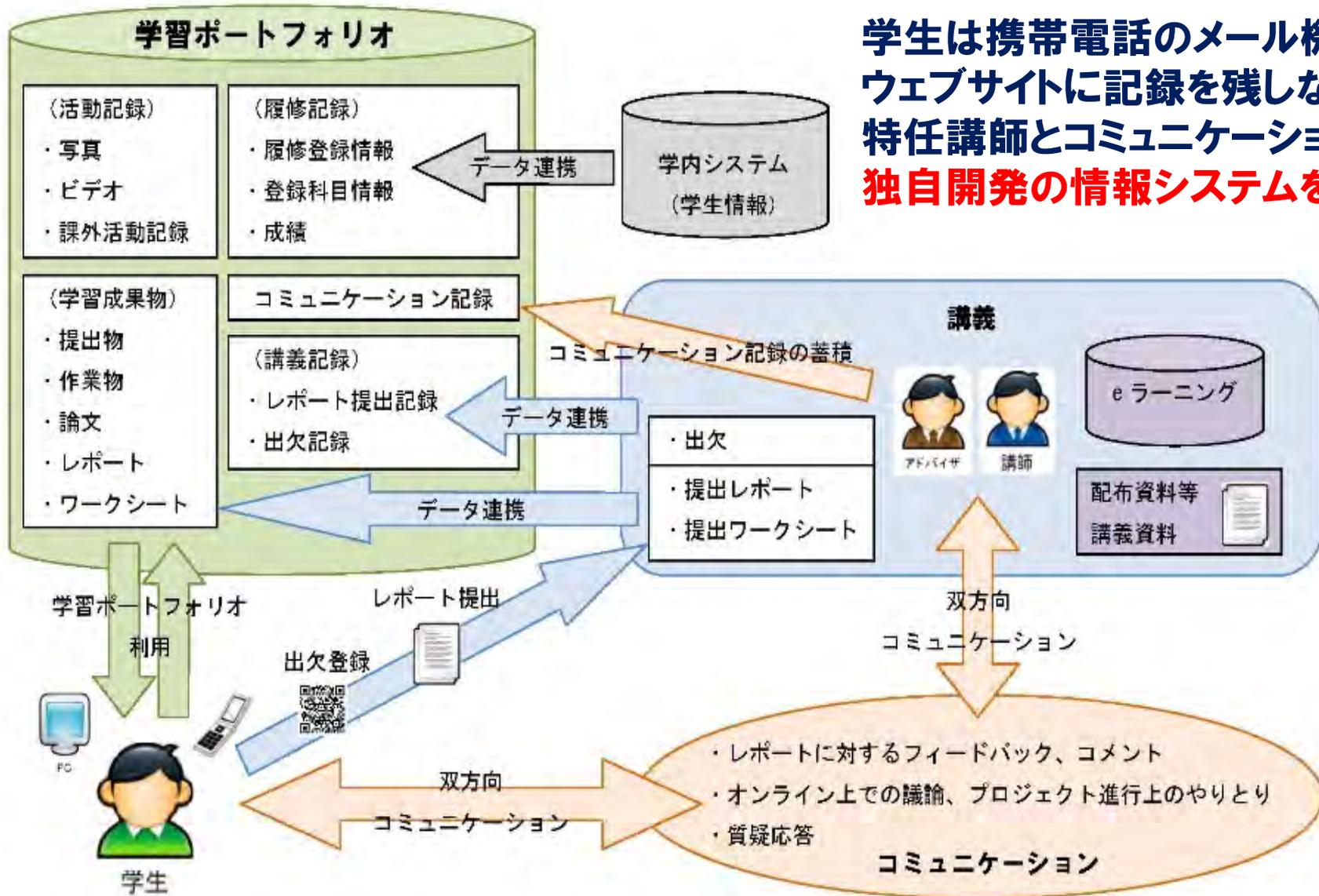
主として保護者向けにキャリア教育説明会を初めて開催して約50名が参加した。終了後、キャリア教育に対する高い期待と取組を高く評価する声が寄せられた。

平成25年度 経済産業省「**社会人基礎力を育成する授業30選**」に選
(2013) 定された。

平成26年度 「キャリアデザイン演習」「キャリアデザイン演習リーダー」
(2014) 授業内容の見直しして改善した。

「電気通信大学概論」で大学図書館と連携して、図書館
利用に関する講義を1回追加した。

**文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実
体制整備事業」(テーマB)**に本学が関東山梨地域大学
グループ有志(7校)の幹事校として「広域多摩地域中小
企業インターンシップ推進事業」を応募して採択された。
学内で「キャリア教育見直しに関する委員会」が発足して
平成27年度以降のキャリア教育の見直しを開始した。



学生は携帯電話のメール機能で、
ウェブサイトに記録を残しながら、
特任講師とコミュニケーションする
独自開発の情報システムを活用

電気通信大学「教育ボランティア制度」

電気通信大学が10年前に始めた他にはない独自のシステム



産業界の経験豊富な人材を特任講師として採用してキャリア教育を支援して頂いている。本学の卒業生に限らず、文科系出身の営業や人事の経験者もいて、熱心に指導に当たっている。

平成26年度は、**特任教員5名、特任講師68名**が担当

キャリア教育演習は、40名の特任講師が毎週1年生10名、3年生10名を担当して、きめ細かく支援する体制を構築している。

受講した学生の感想

1年生

入学当初は将来についての明確なビジョンや大学生活をどのように過ごすかは全く未定であった。この授業などで先輩と触れる機会や自分で将来について考える機会を得て、自分のこれからことや大学での目標などを考えるということにおいて自分は成長できていると思う。



2年生

最初の授業の時には明確な目標が無かったが、今は前よりも具体的に自分の将来のイメージが描けている。例えば、大学院に行って、エネルギーや社会基盤に関する研究をして、現在のエネルギー問題の解決となる発見をしてみたいと考えている。そのため、今自分に必要な行動計画も立てる事が出来てきた。



3年生

この授業で、自分に足りなかった自信やリーダーシップを養うことが出来た。私が考えるリーダーシップは他人に働きかけ巻き込む力だ。目標を設定し、確実に行動するスケジュールを用意し、自分の熱意を相手に伝えることが出来たと思う。



国立大学法人
電気通信大学
Unique & Exciting Campus



ありがとうございます